

令和5年度 事業報告

I 事業概要

少子高齢化の進展により、長野県の高齢化率は32.9%（令和5年10月現在）となり、全国平均を上回る水準で高齢化が進んでいます。生産年齢人口の減少と併せ高齢化の急激な進展が、地域社会や産業の担い手不足に繋がり、地域活力の低下を招くことが懸念されています。

このような状況の中で今後も地域の活力を維持し、人生100年時代を見据えた多様な生き方を可能とするためには、高齢者が地域の担い手として年齢に関わりなく活躍し続けることができる社会づくりの促進が不可欠となっています。

このような中、国では主要政策プランに高齢者の就業促進を掲げ、高齢者に個々の意欲・能力に応じ、「支えられる側」から「社会の支え手」としての活躍を期待しています。

平成27年度から実施しているシルバー派遣事業は9年目を迎えましたが、運転業務の派遣が減ったこともあり、今年度においては対前年比8%減の1,235万円の実績となりました。

また、従来からの請負による業務においては、施設管理が伸びたことや昨年度から事務費率と配分金の引き上げを行なったこともあり、前年度を上回ることができました。

このようなことから、今年度の請負と派遣を合わせた契約総額は1億6695万円となり、前年度を3.4%上回ることができました。

新規入会者が伸び悩む一方で、会員の就業ニーズの多様化等により、発注依頼があってもそれに十分応えられない状況も発生しています。

平成28年度から取り組みを始めた高齢者活用・現役世代雇用サポート事業は、この事業の趣旨である人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、引き続き派遣コーディネーターを配置し、就業機会の拡大に努めました。

新規入会者の拡大対策として、飯山市・木島平村広報誌への記事掲載や地域ローカル紙を活用した会員募集広告も行っているところです。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けにおいて5類に変わり人々の行動も以前に戻りつつありますが、受注件数的には前年を下回りました。しかしながら契約実績は前年を上回ることができ、会員各位の地道な日々の就業の積み重ねに敬意を表するとともに、発注者の皆様や、市・村を始め国・県のご支援に深く感謝申し上げます。

今後さらに、会員の就業マナーや資質の向上を図るとともに、より一層信頼されるシルバー人材センターとなるよう役員及び会員が一丸となって事業の推進に取り組んでいきたいと考えています。

Ⅱ 事業実施報告

1. 就業機会提供事業

(1) 受託事業

降雪が少なく雪下ろしの受注は減少しました。施設管理及び剪定、伐採などの技術群の業務は例年並みでしたが、前年の小雪で冬囲いはずしが前年度に実施され、今冬は遅くまで雪が残ったため翌年度にずれ込むなどほぼ年度内には行われない状況から受注件数はかなり落ち込みました。しかし、4年度から事務費率と配分金の引き上げを行なったこともあり契約額は前年度に比べ増となりました。

(2) 労働者派遣事業

平成27年度から開始し9年目を迎えたシルバー派遣事業は、運転業務の派遣が減ったこともあり契約額も減少となりました。

(3) 独自事業

① 正月飾り製作販売

しめ縄づくり・販売事業では5名の会員にて、しめ縄252本、門松134対を製作販売しました。

製作する会員の高齢化等により後継者の確保が課題となっていることから、しめ縄づくり講習会を開催しました。今後も講習会を継続し後継者育成につなげていくとともに、職群班として活動ができるよう組織の充実を図っていきたいと考えています。

② アンテナショップ「シルバーしろかね」での販売

「シルバーしろかね」は旧飯山駅観光案内所に設け、会員が交代で店番を務め、会員手作りの作品や野菜の販売など、4月から11月までの間、定休日なしで営業を行いました。

また、飯山市から委託されている「観光案内業務」と、飯山商工会議所から委託されている「七福の鐘」の管理とあわせ、飯山の観光案内に一役買うことができました。

(4) 指定管理事業

引き続き、飯山市屋内運動場の指定管理事業を受託しました。

2. 就業機会確保・雇用サポート事業

(1) 安全・適正就業事業の推進

① 安全・適正就業対策推進の重点目標を「危険ゼロ」と定め、具体的取組みとして、「安全ミーティングの完全実施」、「安全装備使用の徹底」、「健康診断受診及び健康体操の奨励」、「交通事故防止」を掲げ取り組みを行いました。

除草、剪定、冬囲い・雪下ろし作業の現場で安全パトロールを実施し、安全ミーティングの推進、会員の事故防止に努めました。

② 安全・適性就業に係る標語の募集では当センター会員から4点の応募がありました。

③ 長野県シルバー人材センター連合会主催の「安全・適正就業推進大会」が塩尻

市で開催され参加しました。

④ 事故発生状況

今年度は、傷害事故が7件、損害賠償事故が6件、交通事故が2件発生しました。前年に比べて発生件数は減りましたが、引き続き会員には事故防止に向けての意識を高く持っていただくことが必要です。

【事故発生内容】

区 分	件数	内 容
傷害事故	7	請負就業でケガ（保険対象）6件 派遣 〃 （労災適用）1件
賠償責任事故	6	草刈り作業中に窓ガラスを破損 4件 貸与機器の破損 1件、家屋設備の破損 1件
交通事故（物損）	2	自損事故（派遣先事業所負担）2件

- ⑤ 中野自動車学校に安全運転適性講習会を委託し、座学・実技による法令遵守、運転評価、検査機による運転適性検査等について、派遣業務に就業している会員7名が受講しました。
- ⑥ 適正就業検討委員会を開催し、ローテーション就業の取り組み等、会員の適正就業を推進しました。
- ⑦ 会員向け情報紙「かわら版」で、事故防止等の注意喚起を行いました。

（2）普及啓発事業の推進

- ① 新型コロナが沈静化したことにより開催できたシルバー祭り、木島平村民祭、シルバーしろかねにおいて、宣伝チラシや啓発用品を配布し、普及啓発に努めました。
- ② 会報「シルバー飯山地域」第30号を発行し飯山市・木島平村の広報誌とともに全戸配付しました。
- ③ 会員募集チラシの新聞折り込み、北信濃新聞、飯山市・木島平村の広報誌に会員募集の広告を掲載して会員拡大に努めました。
- ④ シルバー人材センターを地域の皆様に広く知っていただくため、各地域において除草や清掃作業などボランティア活動を実施しました。

【ボランティア活動実施状況】

ボランティア実施場所	作業内容	令和5年度	令和4年度	令和3年度
飯山市屋内運動場（7月）	除草	24人	28人	26人
飯山市屋内運動場（9月）	除草	29人	27人	34人
各地区活性化センター等	除草、清掃	66人	61人	75人
木島平村社協（7月）	除草	17人	17人	20人
合 計		136人	133人	155人

（3）就業開拓提供事業

- ① 9月～10月において、官公庁・民間事業所等を訪問し、シルバー人材センター事業の理解を得るとともに、就業機会の確保と新規受注開拓に努めました。
- ② 入会説明会を毎月第2水曜日に開催しました。7月と3月は木島平村において

も開催し会員拡大に努めました。

- ③ 4つの職群班においては、会員のスキルアップと後継者育成を目的に研修会を開催し、併せて就業開拓も進めました。

【各職群班実績・研修会】

班名	受注件数	延べ日人員	契約金額	研修会
観光ガイド班	8件	25人	58千円	観光ガイド研修 須崎市へ (6/28)
庭木整姿班	284件	946人	9,249千円	剪定講習会 (6/27)
冬囲い班	333件	1,154人	7,277千円	冬囲い講習会 屋内運動場周辺 (10/16)
除雪班	46件	160人	863千円	

(4) 会員研修会の開催

今年度は、「電話でお金詐欺被害防止について」及び「事故防止について」についての講習会を開催しました。31名が受講され、会員の意識の高揚を図りました。

(5) 調査研究事業の推進

理事・監事の役員で、9月に福島県喜多方市シルバー人材センターを視察し、事業運営等について研修しました。

(6) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、派遣コーディネーターを配置し、請負・委任になじまない就労を派遣事業への切り替えを進め、さらに就業の機会を拡大するための取り組みを行いました。

(7) デジタル化整備促進事業

今年度は、デジタル化整備促進事業を取り入れ、パソコンやスマホの扱い方の相談窓口の設置やスマホ講習会を開催し、今後のますます進展するデジタル化に対応するための取り組みを行いました。

3. 組織運営体制と財政基盤の強化

- (1) 理事会は11回開催しました。

【理事会開催状況】

期日	議事事項・主な協議事項
第1回 4月26日	正会員の入会承認について 令和4年度事業報告及び収支決算報告の承認について 理事・監事の選出について 令和5年度定時総会について
第2回 5月31日	顧問の選任について 正会員の入会承認について 定時総会の運営について

第3回 6月16日	正会員の入会承認について 各部会の年間計画について ボランティア活動について
第4回 7月26日	正会員の入会承認について 市・村への要請活動について
第5回 8月22日	正会員の入会承認について
第6回 9月20日	正会員の入会承認について 地域班会議について
第7回 10月19日	正会員の入会承認について 事務費の改定について 地域班会議の開催状況について 執行理事の職務執行状況について 事業所訪問の結果について
第8回 11月21日	正会員の入会承認について 令和6年度受注単価見積基準について 役員改選に伴う役員候補者の内申について 地域班会議の開催結果について
第9回 12月21日	正会員の入会承認について 令和6年度定時総会について 会員拡大推進月間について シルバーしろかねの運営実績について
第10回 2月16日	正会員の入会承認について 役員賠償責任保険について 各部会の令和5年度事業報告・令和6年度事業計画について 令和6年度年間計画について 適正就業に関する要綱の推進結果について
第11回 3月25日	正会員の入会承認について 令和5年度収支補正予算について 令和6年度事業計画及び収支予算について

- (2) 自治体からの運営費補助の限度額確保のため、飯山市、木島平村への支援要請をそれぞれ8月21日と23日に行いました。
- (3) 連絡員会議を6月に開催しました。地域班会議は10月～11月に10地区で開催し、140名の出席がありました。会員、役員、事務局との情報交換を行い、会員のシルバー人材センター事業への意識高揚に努めるとともに、会員の意見や要望を事業運営に反映させることに努めました。
- (4) 会員による「1人1会員入会運動」を推進し、今年度入会された会員（37名）のうち10名が会員の紹介によるものでした。
- (5) 会員相互の親睦を深めるため、会員互助会への支援を行いました。